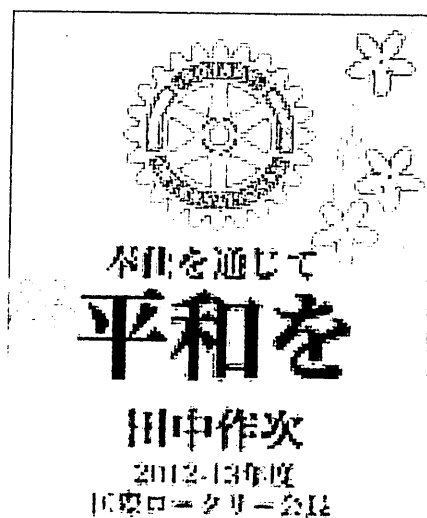


第3分区Aロータリー情報研究会
報 告 書



2012-13年度刊テーマ

～ 職業奉仕に生きること、話し合い、語り合おう ～

平成24年9月28日（金）

ホテルニューオータニ幕張（鶴の間）

ホストクラブ：千葉若潮ロータリークラブ

目 次

項

第3分区Aロータリー情報研究会プログラム				1
開会挨拶	千葉若潮ロータリークラブ	会 長	鈴木章浩	2
ガバナー補佐挨拶	千葉若潮ロータリークラブ	ガバナー補佐	平山勝己	3
来賓挨拶	第2790地区ガバナーノミニー		宇佐見 透	4
来賓挨拶	第2790地区職業奉仕委員長		海寶勘一	5-6
テーブルマスター報告	Aテーブル	千葉中央ロータリークラブ	藤原勝己	7
	Bテーブル	千葉東ロータリークラブ	加藤 隆	8
	Cテーブル	千葉西ロータリークラブ	川島教昭	9-10
	Dテーブル	千葉ロータリークラブ	池田勝之	11
	Eテーブル	千葉若潮ロータリークラブ	綱島照雄	12
	Fテーブル	新千葉ロータリークラブ	鈴木義哉	13
	Gテーブル	千葉若潮ロータリークラブ	鵜沢和広	14
	Hテーブル	千葉幕張ロータリークラブ	砂畑頼孝	15
	Iテーブル	千葉若潮ロータリークラブ	清水 隆	16
ガバナー補佐総評	千葉若潮ロータリークラブ	ガバナー補佐	平山勝己	17-19
収支報告				20
	資料1	ロータリークラブの綱領、四つのテスト		21
	資料2	ロータリーの行動規範		22
	資料3	職業奉仕委員会		23
	資料4	職業奉仕に生きること		24
	資料5-6	樂をする誘惑		25-26
	資料7-8	あるレジ打ち女性の話		27-28
	資料9	業界と共に生きよ		29
	資料10	仕事に愛を込める		30
	資料11-12	職業奉仕入門		31-32
	資料13	職業奉仕と高い倫理基準		33
	資料14	ロータリアンの職業宣言		34
	資料15	職場で倫理的行動を実践するための3つのカギ		35
	資料16	職業奉仕と職業分類		36
	資料17-18	職業奉仕プロジェクトの機会		37-38
	資料19	職業奉仕の推進		39
	資料20	クラブ奉仕		40
	資料21-22	参加者名簿		41-42

第3分区Aロータリー情報研究会プログラム

日 時：平成 24年9月28日（金）14：00～17：00

場 所：ホテルニューオータニ幕張（2F 鶴の間）

14：00 開会点鐘 第3分区Aガバナー補佐 平山勝己

国歌「君が代」・[奉仕の理想] 斉唱

来賓紹介 第3分区Aガバナー補佐 平山勝己

(宇佐見ガバナーノミニー・地区委員)

開会挨拶 千葉若潮 RC 会長 鈴木 章浩

ガバナー補佐挨拶 第3分区Aガバナー補佐 平山 勝己

来賓挨拶 第2790地区ガバナーノミニー 宇佐見 透様

第2790地区職業奉仕委員長 海寶 勘一様

14：25 意見交換会

- ・テーブルごとに分かれて双方向意見交流（85分）
- ・テーマ「職業奉仕に生きる事、話し合い、語り合おう」
- ・テーブルマスターは、各クラブ奉仕委員長

15：50 休憩

16：00 テーブルマスターによる発表（50分）

16：50 ガバナー補佐総評 第3分区Aガバナー補佐 平山勝己

16：58 諸事連絡

17：00 閉会点鐘 第3分区Aガバナー補佐 平山勝己

司会進行 千葉若潮ロータリークラブSAA

開会挨拶

千葉若潮ロータリークラブ
会長 鈴木章浩

皆さんこんにちは、ご紹介頂きました千葉若潮 RC の鈴木でございます。

今年度の情報研究会ホストクラブと言う事で、僭越ではございますが、一言歓迎の挨拶をさせていただきます。

本日は、「職業奉仕に生きること、話し合い、語り合おう」と言うテーマにてテーブルごとに双方向によります意見交流を開催する旨のご案内をさせて頂きましたところ、大勢の分区の皆様にご登録を頂き誠に有難うございました。

又、地区からは海賢職業奉仕委員長始め地区職業奉仕委員の皆様、そして8月に確定しました幕張 RC 宇佐見ガバナーノミニーにおかれましては大変お忙しい中、ご臨席賜り誠に有難うございます。

さて、今回の情報研究会は「ロータリーの綱領」について再度学ぶ事と「職業奉仕の推進」に絶好の機会と考えております。限られた時間ではございますが、参加された皆様一人ひとりが活発な意見交換をして頂きまして有意義な研究会にしたいと思っております。また、クラブ内におきましてもこの研究会がすばらしい効果をもたらしてくれる事をご祈念申し上げて、誠に簡単では御座いますが、歓迎の挨拶とさせていただきます。有難う御座いました。

情報研究会（挨拶）

平成 24 年 9 月 28 日
ガバナー補佐 平山勝己

こんにちは 今日はこのようにたくさんの皆さんにお集まりいただき有難うございます。ガバナー補佐の平山でございます。どうぞよろしく願いいたします。

地区の職業奉仕の委員長さんはじめ委員の方にも来ていただいて、ご指導いただけるといことであります。地区の皆さんよろしく願いいたします。

テーマは地区から頂きました。＜職業奉仕に生きること、話し合い、語り合おう＞というテーマでございます。このテーマに基づいて、テーブルごとにディスカッションをしていただきたいと思ひます。

ロータリーの職業奉仕はシェルドンの＜最も多く奉仕するものもっとも多く報われる＞が発端だと言われております。その後 1915 年にシェルドンの考え方を取り入れて、＜全分野を対象とするロータリーの倫理訓＞が国際ロータリーの年次大会で決議されます。これが＜道徳律＞と呼ばれているものであります。この＜道徳律＞は非常に評判がよく、今でも、この＜道徳律＞を絶賛する人が多いと聞いております。しかし残念なことに 1980 年、65 年間親しまれたこの＜道徳律＞が廃止になります。

その後 1984 年になって＜ロータリーの職業宣言＞ができます。この＜ロータリーの職業宣言＞は 2011 年に廃止になるまで 27 年間我々になじみのあったものであります。先ほどの＜道徳律＞と同じように、評判は少し落ちますが、我々が行うべき職業奉仕の指針が書かれておりました。

しかしその後 2011 年 9 月に RI 理事会で承認された＜ロータリーの行動規範＞は、この文章を読んでみても職業奉仕のことが書かれているのかわからない文章になっております。皆さんにお配りした資料の 2 に載せてあります。ここにロータリーの中核的価値観という言葉が出てきます。この中核的価値観はシェルドンが唱えたロータリーの伝統的な価値観とは大分違うような気がします。

職業奉仕の概念があやふやになってきております。職業奉仕の考え方はこのように変わっております。なぜそのように変わってきたのか、その変化が正しいものであるのか。その辺も議論していただきたいと思ひます。

1992 年度 RI のサブ会長は＜新会員には職業奉仕を説け、職業奉仕がロータリーの歴史であるから＞と言っております。

まさにその通りだと思ひます。今日は職業奉仕について、ロータリーの歴史について、ディスカッションを通じて、勉強していただきたいと思ひます。

活発な意見、有意義な意見が出ることを期待して私の挨拶といたします。

来賓挨拶

第2790地区ガバナーノミニー

宇佐見 透（千葉幕張RC）

皆様、こんにちは。

只今ご紹介戴きましたガバナーノミニーの宇佐見透と申します。本日は平山ガバナー補佐様の御指導の下第3分区ロータリー情報研究会がかくも盛大に開催され、お招きに預かりありがとうございます。千葉若潮ロータリークラブ鈴木会長様をはじめ会員の皆様には本日の設営をご担当下さり本当にご苦労様で御座いました。

第3分区の皆様には、今後様々な形で本日のような御協力を御願いすることになるかと思えます。高い席からではありますがどうかよろしく御願い申しあげます。

さて昨今、会員減少につきましては基より、国際関係や、経済状況など極めて難しい時代を迎えており、私達ロータリー活動を通しての民間交流等が増々重要になっております。幸いにも第3分区Aの皆様におかれましては、得居ガバナーの新たな施策の元、平山ガバナー補佐様による力強い御指導を賜り、地区内で最も活動されているやに感じております。本日は情報研究会という、ロータリーを十分に理解し、ロータリー会員の特典と責務を把握していただく絶好の機会であります。地区職業委員会からも海寶勘一委員長様をはじめ堀内正一委員様、高梨昇一郎委員様のご参加を賜っておりますので、職業倫理の率先垂範について、双方向による自由闊達な意見交換の場になるべく祈念申し上げ、言葉整いませんが御挨拶とさせて戴きます。よろしく御願い申しあげます。

来賓挨拶

地区職業奉仕委員会 委員長

海 寶 勘 一(千葉西RC)

今年度得居ガバナーは、年度活動運営の要望事項として職業奉仕の推進を掲げてくれました。まずは、ロータリアンとして守るべき綱領を良く理解し、その奉仕の理想を基本とさせて、つねに相手方を思い遣る優しく豊かな心を持ち、ご自身の事業繁栄に邁進することと述べております。更には綱領の推進が、職業奉仕の推進でもあると結論付けてくれ、ガバナーの年度要望事項として職業奉仕の一層の推進を提示されました。その手法としては、クラブ会員の自主的な研修によるクラブ強化を提案されました。このことを踏まえて、私達地区職業奉仕委員会は、クラブメンバーの皆様には何かを教えると言う立場ではなく、お互いに胸襟を開いて、自由闊達な双方向意見交流をする場を考えてみました。我々ロータリアンは定款第8条の職業分類に選ばれた良き職業人でありますので、自らの職業を素直な立場で話し合い、語り合える認識を深めることを活動方針としました。

得居ガバナーもご一緒に考えられた結果として、討議のテーマとなった、職業奉仕に生きること 話し合い 語り合おうと目標が決まりました。そのためには、私達地区職業奉仕委員会の立場は地区内第85番目のクラブ委員会仲間であると位置づけて、まずはクラブ職業奉仕委員長さんと話し合い語り合う場を設けることが、最善であると結論がされました。

その考え方としては、すでに経験された隣接2分区ごと計7回のクラブ委員長セミナーを開催して様々な他クラブメンバーの職業倫理や人間性を語り合ってもらい、きょうのロータリー情報研究会のテーブルマスターとして、準備のためのヒントを学んで頂くためでした。これまで地区内数多くの委員長さんと楽しく話し合い語り合うことができ、感動をしております。本日は第3分区Aのロータリー情報研究会を開催することが出来、主催された平山勝己ガバナー補佐さんには多くのご指導を賜り、ホストクラブの千葉若潮RC会長鈴木章浩さん。幹事林田英樹さんには会場設定等準備に多大なご支援とご尽力を頂き、地区委員会として、心からの感謝をしております、誠にありがとうございました。

ロータリー情報研究会と言えば、歴史的には博識ある立派な講演者を迎えた卓話等で、賢人の講話を聴き入れることが数多くありました。このことは最も大切で有意義な学びの手法ですが、職業人として活躍されるご自身の考え方を、伝え語り話し合うことは一層尊敬される、模範的な職業人となりえる、最も善い手段でもあると結論付けました。何よりも、大きな筋道としても職業人同士が理解と価値を分かち合い切磋琢磨できる場になると思います。良き職業人として、礼節差をもって人の話を聴き入れ、良き節度をもって他者に話をする場からは、今日のテーマである職業奉仕に生きること 話し合い 話し合おうという 気概が生まれますし、克己心が増すことを期待しております。皆様の中には、職業奉仕の知識や歴史を学ばずに、双方向意見交流の結論も求めない本日のロータリー情報研究会に対して、なにかしらのご不満をお持ちの方もいらっしゃると思いますが、職業奉仕の理念や、歴史観を深く掘り下げて学び研究することだけが、ロータリアンの研修スタイルでないことも是非とも気づいてほしいと思います。世の中の人々から尊敬を受けて、日々模範的な職業人としての信頼を大きく得ることに、私達ロータリアンの使命があることを自覚する必要がある気がします。日々研鑽し向上するのであれば、毎例会時に自らが示している、何気ない生き様こそが

最も大切な学びあいになることと思います。日々夢中に精進するなかで、一生懸命に生きる職業人の立ち居振る舞いこそが、自分自身の背中表情として素直に表現されますし、さりげなく感化し合えることを信じております。

皆様と話し合い語り合う場から少しでも研鑽と向上の価値が高まり、徳性と品格あるロータリアンに成長されることを期待しながら、今日のロータリー情報研究会が、価値と稔りが高まる双方向意見交流の語り合いの場になることを念じております。人様と信頼の分かち合いをしながら、世間に見せられる自身の立ち居振る舞いを誇りにして、自己啓発や向上心に結び付けていけたら嬉しい限りです。

職業奉仕に生きること 話し合い 語り合おうの双方向意見交流を、限られた時間の中ですが和やかに大いに楽しんでください。是非ともクラブ委員長さんが先頭を切って、各クラブの中でも広めて活用してみたいものです。

各テーブルにおきましては ・胸襟を開いて自由にディスカッションに参加しましょう ・先ずは人様の発言を注意深く聴き入れましょう ・ご自身の職業奉仕経験を自由に話し合い語り合しましょう 価値ある意見交流を期待しております。

【Aテーブル報告】

千葉中央ロータリークラブ 藤原勝己

Aテーブル7名の所属クラブや入会歴など自己紹介に始まり、各クラブの職業奉仕委員会の活動についてお聞きしました。お相手の参加メンバーが入会歴が浅い為、意見が出にくい雰囲気となりましたので、それぞれの職業に対する考えや体験をもとに意見交換を進めていくようにしました。

まず、造園を業とするメンバーからは、営業せずとも紹介で3年先まで仕事があるとのこと。50～100年と次の代に残る造園を考えていて、本来やるべき自己の職業に力を入れ高めてゆくことこそ唯一の職業奉仕の理念であるとして大切にしているそうです。

また、建築土木を業とするメンバーは『お客様の要望は絶対断らない』ことを自己の信念としておられ、施主様の他社工事が2度も駄目で困っている様子を見て解決し、感謝されたことが大きな確信となっているようです。

神職のメンバーは、学校でまったく教えない人生の儀礼など教え広めることがすべて奉仕と思って邁進しているとのことでした。

お弁当など食品製造販売を業とするメンバーは、お客様や取引担当者を喜ばせることが仕事で奉仕と考えているとのことでした。また、お客様から『お弁当が美味しかった』と礼状を貰った時は、毎日の工夫努力が評価されて涙の出る程嬉しかったそうです。

他のメンバーも長年の積み重ねを通じて根を張り、日々真心を込めたお仕事で喜ばれた体験を語っていただきました。

それぞれのメンバーは五字分の職業を天職と思われていて、世のため人のためになるように、仕事を遂行されていることに感心しました。

既にロータリー的な良心で仕事をされ、まさに職業奉仕をされておられるわけですが、その確信を揺るぎのない信念として深めるため、更に人格の向上、自己の品格を高めることが肝要になってまいりましょう。そこで各クラブの例会やロータリー情報研究会などに於いて、自分の心がすべての人間関係に行き届くように努め少しづつ身につけて行くことが大切なことと思われまふ。

以上報告いたします。

ロータリー情報研究会テーブル討議報告

B テーブル

千葉東 RC 加藤 隆

テーブルの構成メンバーは入会歴6ヶ月～20年以上とバラエティに富んでいました。したがって入会歴の浅い会員は職業奉仕という事自体の理解が足りない感じで突っ込んだ意見も聴けませんでした。したがって中堅からベテランの方の話が中心で会歴の浅い方はそれを聴いて勉強になったと思います。

各クラブの職業奉仕委員会の活動としては、殆んどが年間に1回か、或いは複数回の職場訪問が中心で「職業奉仕とは」のテーマでの話し合いは行われておりませんでした。新入会員卓話の際、会員卓話として自分の職業を話すことは行っているようです。ただし、改めて自分の職業などについて職業奉仕と関連付けて卓話をするという事は行っていないのが現状のようでした。

四つのテストについては、毎週ランダムに示し例会の冒頭に唱和するというクラブもあれば、全く例会では唱和しないというクラブもあり、月に1回というところが多かったようです。唱和するクラブでも、ほとんどの会員が暗唱できない状態だそうです。また、四つのテストで一番大事なことはそれぞれの項目ではなく、冒頭にある「言行はこれに照らして」というフレーズが一番重いのではないかという事でした。

千葉西 RC 川島教昭元ガバナー補佐作成の配布資料に関しては、大体の事は理解できるが、作成者の補足説明が欲しいとのことでありました。

今回のロータリー情報研究会は全てのロータリアン対象と言う事でありましたので、例年のようなトップダウンセミナーと違って、各テーブル毎で若い(会歴の浅い)ロータリアンにとっては非常に勉強になった面もあるのではないかと思います。

第3分区Aロータリー情報研究会 報告書

千葉西ロータリークラブ
職業奉仕委員長 川島教昭

意見交流の内容を下記3項目に絞り、話し合いを行った。

1. 各クラブの活動方針、活動計画について

【千葉西 RC】

- ・実践を通して職業倫理を高める。
- ・顧客の満足度を高める。(善意が無ければ単なる金儲けに過ぎない)
- ・綱領の再確認を行う。
- ・実例を示す。
- ・年2回の研修を行う。
- ・4つのテストの唱和をランダムに担当する。
- ・ロータリアンに職業奉仕の位置づけを明示する。

【千葉中央 RC】

- ・プライド、倫理観を持ち続ける。
- ・4つのテストの心を持って常に顧客に接すれば納得を頂ける。

【千葉幕張 RC】

- ・社会奉仕の中で職業奉仕を生かす。
- ・アートフレンズ展の実践の中から職業奉仕の実現と新しい発見をしていく。

【千葉東 RC】

- ・職業奉仕に捉われることなく五大奉仕を真に実践する。

【千葉若潮 RC】

- ・原点に回帰する。
- ・職業奉仕そのものであるロータリーの歴史について月1回勉強会を行う。

2. 実例により互いに知り合う

【千葉 RC】

- ・職業上(電気関係)災害時のライフラインの確保を職業奉仕の実践として銘記している。

【千葉西 RC】

- ・もの作りを通して小学生への出前教室を開催し、もの作りへの関心の誘発を行なう。
- ・運転における「3秒間のスローライフ」を実践する。
- ・高校生への講義に際し、自転車の道路交通法の責任の喚起のため「軽車輛」という言い方をして「自転車」という言葉は使わない。

【千葉中央 RC】

- ・4つのテストの心を顧客との実務に生かされた実例として、顧客からのクレームに誠意をもって対応し理解を頂くことが出来た。大切なのは、4つのテストを常に実務に活かすマインドをもつことである。

【千葉幕張 RC】

- ・医療の現場から障害を持った方々の提案により、絵画等の展示会を発案しその輪が広がっている。

【千葉東 RC】

・「取引先業者」という言葉は上からの目線となり四つのテストに照らすと不合理である。そこで「パートナー企業」という言い方に変えた。こうすると平等公平な立場で協議できる環境が出来る。

【千葉若潮 RC】

・まず自分の仕事に誇りを持って現実に対応することが職業奉仕である。次に信頼関係を形成し、年1回の職場訪問で互いを知る。クライアントに対する顧客満足度を常に検証する。

3. フリートーキング

職業奉仕の理念について:事業の成功により顧客の満足を追求すること

【千葉西 RC】

問題提起:事業の成功の概念が社会のしくみの変遷により大きく異なってきたのではないか?

事業の成功の裏には利便性の追随、IT化の波により企業は生き残りをかけてスリム化し利潤を追求している。しかし一方で過去14年間30,000人を超える自殺者を生んでいる。この数は交通事故死の6倍超である。自殺者の年齢層は40~60歳代が圧倒的に多い。いわゆるリストラ世代である。

↓

ロータリーは事業の成功の概念を変える時期にきているのではないか?ロータリーはこの問題を直視して欲しい。

(他の奉仕団体は既に取り組みを始めている)

陰徳主義では治まらない職業奉仕に於ける事業の成功という定義を再考して欲しい。

※職業奉仕の新入会員に対する位置づけの資料としてパネルの説明を行なう。(別紙参照)

【Dテーブル】

千葉ロータリークラブ 池田勝之

○ 自己紹介

各メンバーの自己紹介を行いました。

○ 各クラブ職業奉仕委員会の活動・実績紹介

- ・ ジュニア育成ゴルフ開催
- ・ 職場訪問（千葉刑務所、様々な企業から情報収集、他）
- ・ 大学訪問（教育現場で教育方針等を勉強）
- ・ 会員卓話を通じて、会員企業の情報交換
- ・ 親睦旅行を兼ねて、職業奉仕を実施
- ・ 各メンバー企業経営理念を紹介
- ・ 他

各メンバー間の情報交換をしながら職業奉仕に繋がっていきたい。

○ 「四つのテスト」について

毎例会前に行っているクラブと、行わないクラブがある。行わないクラブの方が多かった。

○ 近隣クラブ同士での研鑽を積むには・・・

- ・ 今回の研究会などで使う名簿にも、職業分類を入れるべき。
- ・ 各クラブで職業分類空きがある職業のメンバーを他クラブと補完しあってもいいのでは？

○ 職業奉仕とは

- ・ 国民の3大義務（労働・納税・教育）をしっかりと実行できるようにする。
- ・ 会社の安定した継続が社会への奉仕に繋がる。
- ・ 会員相互の交流によってお互いの職業を理解しあえる。

以上

2790地区第3分区Aロータリー情報研究会報告

2012.19.28

E テーブル

千葉若潮ロータリークラブ

綱島照雄

E テーブル意見交換報告

私どものテーブルは7人で、比較的ロータリー活動の長い会員に参加していただきました。普段の活動において、職業奉仕についてあまり議論する事が無く非常に有意義な意見交換との意見がありました。

本来のロータリー活動の根源にあるのが職業奉仕であり、他の奉仕は職業奉仕の理念の中に立脚しているとの認識から幅広いロータリー談義となりました。議論が深まると、国際ロータリーとの考え方と今の活動のギャップが大きいと感じてしまうとの意見が多く出ました。

2012・13 年度第 3 分区 A ロータリー情報研究会報告

F テーブルマスター
新千葉ロータリークラブ
職業奉仕委員長 鈴木 善哉

F テーブル 5 名

3 名が入会 2 年以下の会員で、新鮮な意見が交換されました。

- ・ 職業奉仕の意味の理解が難しい
- ・ 社会奉仕に似ている

結 果

職業を通して職業奉仕とは…

「人の振り見て我振り直せ」切磋琢磨して品位を高める努力をする。

ロータリー情報研究会 Gテーブル

ロータリー歴の浅い会員から「職業」と「奉仕」のそれぞれの単語は常識であるが、その二つが一緒になった「職業奉仕」となると、はじめて聞く単語でもあり意味も良く解らないとの意見があり、これに対し地区委員の高梨さんから奉仕（SERVE）を貢献と訳すと解りやすいのではとのアドバイスを頂いた。

日本人の道徳心や倫理観の高さは職業奉仕の理念に合っていて、永年継続して発展している企業はロータリーの職業奉仕の理念、四つのテストを自然と取り入れた経営をしている。また、そうでない企業は生き残れないのではないか。

経営者が病気や怪我で経営に邁進出来なければ企業は衰退するし、社員が同様であれば顧客に迷惑を掛ける。よって、企業の経営者・社員は健康で毎日を頑張ることが職業奉仕の基本である。

我々ロータリアンはロータリークラブの奉仕事業について良い意味でもっとアピールすべきある。

以上 テーブルマスター 鵜沢和広

第三分区Aロータリー情報研究会

平成24年9月28日(金)
千葉幕張ロータリークラブ
砂畑 頼孝

「職業奉仕に生きること、話し合い、語り合おう」

H テーブル メンバー

新千葉RC 森島さん、千葉西RC 野城さん、千葉若潮RC 土屋さん、
千葉RC 児玉さん、千葉幕張RC 砂畑 の5名

入会1年目～16年のRC歴の方々との中味の濃いお話が出来ました。

1. 自己紹介及び職業における現在の問題点

- ・ 社員やパート・アルバイトの定着しない現況
- ・ 近い将来の労働人口の激減の可能性
- ・ 若い女性のライフスタイルの変化

2. インターンシップ(職場体験)に関して

- ・ 皆さんの職場において学校からの依頼により「インターンシップ」を受け入れていることは最近の若い人達の離職率が高いことを考えると非常に良い制度
- ・ 若潮RCのお話では地元の高校1年生にゴルフ場の職場体験をさせ、若い頃から仕事に触れさせ、青少年育成にも力を入れることは重要である

3. 職場訪問

- ・ 所属クラブでは年に一度は「職場訪問」の機会を設けている
- ・ 普段より知ることの出来ない職場などを見たり、体験することは他の仕事に理解を示すことの出来る非常に大切なことで継続して行きたい

4. 同業他社や全く違う職業の方々との交流

- ・ 様々な職業のロータリークラブのメンバーとのお話は大変勉強になる
- ・ 同業他社の社長の集まりで、本来はライバル関係でも色々な情報交換により大変参考になることがある

5. コンプライアンス(法令遵守)と社会貢献

- ・ 同業他社との会合出席や他の会社の方々との交流における倫理観が問われる時代である
- ・ 日本の企業人は自身の組織の中で、企業の倫理観を大切に仕事をし、社会に貢献していると思われる

以上

【Iテーブル報告】

千葉若潮ロータリークラブ 清水 隆

Iテーブルでは入会して1年未満の方が多かったが、職業奉仕の概念、理念の在り方を意志交換ができ理解できたと思います。

建築関係の方、プロはプロ意志を持って行っている。サービス業関係の方、顧客が納得のするサービスを心がけている。この様に皆さんは自信を持って仕事に取り組んでいます。今回のロータリー情報研究会はたいへん好評でした。

色々なクラブを見て、聞いてそして考え、討論した事がこれからのロータリークラブの発展に繋がると思います。職業奉仕を理解するのが少し難しいですが、意志交換の最後に【職業奉仕など無いと考え、理念を持って自分の仕事をする事が、職業奉仕である。】と考えた方が皆さんは、理解しやすかった様です。

情報研究会（総評）

平成 24 年 9 月 28 日

ガバナー補佐平山

ただいまテーブルマスターの方々から報告がありまして、いろいろな意見が出てまいりました。私も参考になることがたくさんありました。本当にありがとうございます。皆さんの意見の中からそのうちのいくつかについてコメントさせていただきたいと思います。

第一に、皆さんが各クラブでやっている職場訪問であります。この職場訪問はほとんどのクラブが活動計画書に載せてあります。

この根拠は 1987 年、今から 25 年前に RI の職業奉仕委員会が「職業奉仕に関する声明」を發表します。この中に「クラブが職業奉仕を実践する」という言葉があります。

具体的に例をあげて「職場訪問、優良従業員の表彰、ボランティア活動」を挙げております。

ですから最近は「職場訪問、優良従業員の表彰、ボランティア活動」を職業奉仕活動としているロータリークラブが多いのであります。

しかし 1987 年以前はどうだったかと言いますと、ロータリーは自分の職業を通じて行う個人奉仕ということで、団体奉仕という考え方はなかったのであります。

したがって今でも「職場訪問、優良従業員の表彰、ボランティア活動」を職業奉仕活動として認めないという人々が多いのであります。皆さんどう考えますか？

第二に四つのテストです。皆さんのクラブの中には毎週例会で「四つのテスト」を唱和しているクラブがあります。または月初に 1 回だけ唱和しているクラブもあります。また 1 回も唱和が行われていないクラブがあります。

四つのテストはロータリーの標語の中でも重要な標語だと思います。四つのテストの由来やその意味するところを十分に理解して唱和するということが大事なのではないかと思ひます。

この言葉はハーバート J テーラーと言う人が唱えたものでクラブアルミニウム社という企業の再建を頼まれたときに考え出された経営理念なのであります。

企業は発展させること、利益を上げることも重要ですが一番重要なことは継続すること。ゴーイングコンサーンということではないかと思ひます。企業が継続するために何が重要かと言いますとそれは信用ということだろうと思ひます。顧客からの信用、従業員からの信用、世間からの信用それが大事だと思ひます。

その信頼を得るためにはこの四つのテストを日々実践していく。この言葉は経営の実践理論なのであります。

以前あるロータリーの勉強会に参加したことがあります。その時の講師がこの「四つの

テスト>に基づいて実際の経営を行ったら経営は破綻してしまう。日本を代表するトヨタ自動車ですえ下請けを泣かせて、自分だけ莫大な利益を上げているのではないか。企業というものは、そういうものであるという話をしておりました。

私はこの言葉に反論しまして<あなたはロータリーに入っている意味がないのではないか?この四つのテストに基づいて自己の経営を行う、そういう人がロータリアンである>と主張したことを覚えております。

今日のテーマであります<職業奉仕に生きること>というのは<四つのテスト>を経営理念として経営を行うという意味ではなかろうかと思っております。

第三に会員卓話であります。ロータリーの職業奉仕が個人奉仕ということであれば会員卓話はロータリアンの各自の職業奉仕の実践の報告という意味があります。

自分の行った自己の職業の職業奉仕活動を報告する。そして他の会員の職業奉仕活動の話聞く。それによってお互いが自己啓発されてよりよいロータリアンになっていく。それが会員卓話、あるいは例会の目的かなと思います。

すなわち会員卓話こそがロータリーで一番重要なことで、そのためにロータリーは週1回の例会、出席重視という考え方をしているのではなかろうかと思っております。

第四にロータリーの職業奉仕概念について述べてみたいと思います。シェルドンの He profits most who serves best (最も多く奉仕するもの、最も多く報いられる)。この考え方が職業奉仕の基本理念になったことは確かだろうと思います。

1915年<全分野の職業人を対象とするロータリー倫理訓>ができます。これがシェルドンの職業奉仕の考え方を全面的に取り入れたものであります。

しかし1980年になりますと非常に大きな変化が現れます。まず第1にこの<道徳律>が廃止になります。第2に<決議 23-34>が手続要覧から削除されます。そして第3に RI がポリオ撲滅という事業を始めます。そして第4にシェルドンの He profits most who serves best が削除の提案がなされます。

<決議 23-34>や第二標語は日本や韓国の反対でどうにか生き伸びておりますが廃止の提案はその後何回も出てきております。

まさに職業奉仕は危機的状況なのであります。

しかし考えてみれば、シェルドンの第二標語や決議 23-34 も辛うじて現在まで残っております。道徳律や職業宣言は廃止になりましたが四つのテストやロータリーの綱領は残っております。

まだ職業奉仕がロータリーの中から完全になくなった話ではありません。

最後にロータリーの好きな人達はたくさんおります。そのほとんどがシェルドンの<最も多く奉仕するもの、最も多く報われる>という<第二標語>や廃止になりました<道徳

律>それに<決議 23-34><四つのテスト>が好きな人ばかりであります。また昭和2年にできた大連クラブの綱領もオリジナルの日本語で書かれておりましてこの綱領も好きな人がおります。

皆さんもそれらのことを良く学んで職業奉仕をそしてロータリーを好きになってもらいたいと思います。皆さんがロータリーを好きになれば皆さんの影響で周りの人たちもロータリーを好きになります。そうなれば第三分区 A はきっと発展していくと思います。

今日は本当にありがとうございました。

1
2
3
4

参加者名簿

■千葉幕張ロータリークラブ (16名)

宇佐見 透	19年 10ヶ月	ガバナーノミニー
寺川 典秀	10年 2ヶ月	会長
宮本 和夫	7年 6ヶ月	幹事
植草 一隆	25年 9ヶ月	職業奉仕委員長
梅田 尚夫	24年 2ヶ月	
宍倉 良夫	23年 8ヶ月	
植草 和典	12年 4ヶ月	
能勢 大弘	12年 2ヶ月	

吉田 広行	12年 5ヶ月	
砂畑 頼孝	4年 1ヶ月	
伊藤 愛彦	4年 1ヶ月	
房洲 里香	3年 1ヶ月	
坂井 律子	1年 11ヶ月	
唐澤 秀明	1年 4ヶ月	
尾形 文貴	年 1ヶ月	
武藤 一成	年 1ヶ月	

■千葉東ロータリークラブ (8名)

吉田 朋令	3年 3ヶ月	幹事
加藤 隆	20年 1ヶ月	
原田 健一	8年 8ヶ月	
千田 直樹	6年 2ヶ月	

辻 修	6年 1ヶ月	
佐藤 正成	2年 6ヶ月	
鳴海 寿裕	1年 9ヶ月	
市原 親一	年 1ヶ月	

■千葉若潮ロータリークラブ (17名)

平山 勝己	13年 4ヶ月	ガバナー補佐
鈴木 章浩	13年 4ヶ月	会長
林田 英樹	8年 9ヶ月	幹事
綱島 照雄	13年 4ヶ月	職業奉仕委員長
伊地知瑞夫	20年 8ヶ月	
加藤 時春	13年 1ヶ月	
西村 信行	13年 2ヶ月	
鶴沢 和広	13年 0ヶ月	
土屋 大陸	12年10ヶ月	

鴨狩 睦	11年11ヶ月	
中村 光男	9年 6ヶ月	
紺野 浩幸	6年 2ヶ月	
清水 隆	6年 3ヶ月	
松原 正吾	5年 2ヶ月	
大木 英之	5年 2ヶ月	
杉山 和久	3年 4ヶ月	
豊田 裕己	年 4ヶ月	

■地区職業奉仕委員会

海寶 勘一
堀内 正一
高梨昇一郎